

安達太良山の火山活動解説資料（平成21年 7 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。
平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

若宮（沼ノ平火口の西北西約 8 km）に設置してある遠望カメラでは、沼ノ平火口付近の噴気は観測されませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 3）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 4～5）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

・熱活動の状況（図 6～8）

7 日に沼ノ平火口を中心とした現地調査を実施しました。沼ノ平火口の噴気活動、熱活動は低調な状態が続いており、前回（2008年 6 月 11 日）と比べて特段の変化は認められませんでした。

沼ノ平南西変質地(Y-3)付近では、高さ 3 m 程度の弱い噴気が観測され、地熱域¹⁾が引き続き認められました。また、沼ノ平火口中央(Y-1)付近では、噴気は観測されず、地中温度²⁾も低い状態が続いていました。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

2) サーミスタ温度計による測定。サーミスタ温度計は、半導体の電気抵抗が温度変化する性質を利用して温度を測定する測器です。

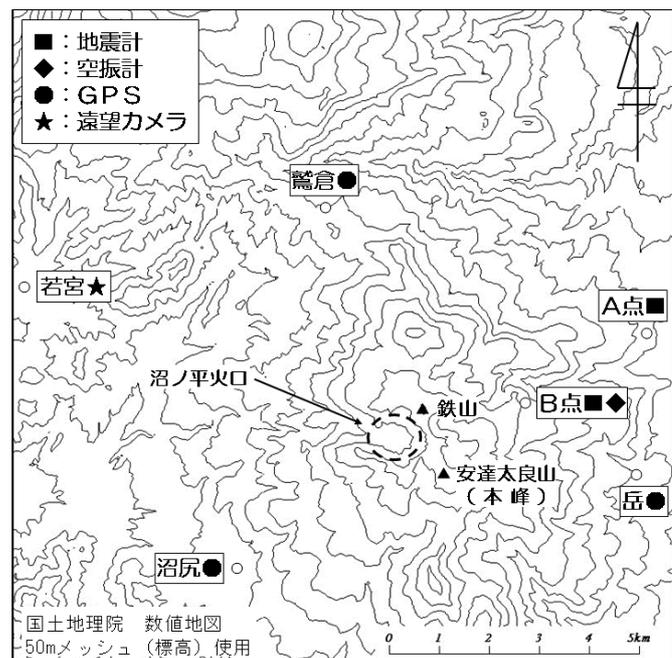


図 1 安達太良山 観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 8 月分）は平成 21 年 9 月 8 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。

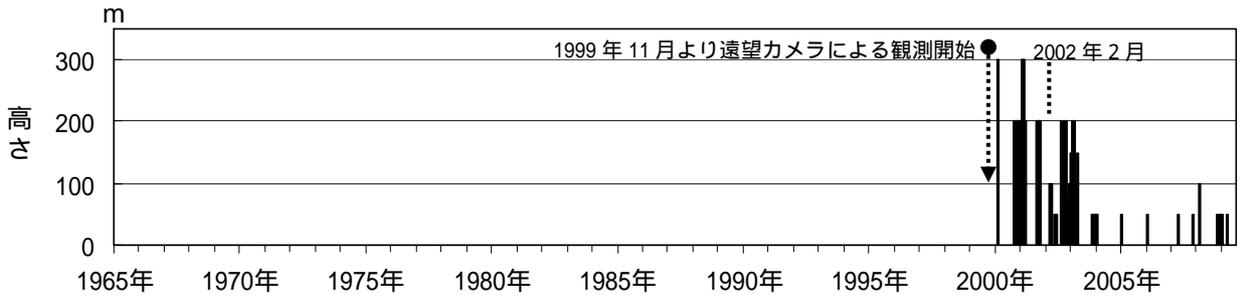


図2 安達太良山（沼ノ平）月別最大噴気高（1999年11月～2009年7月）

2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。

2002年2月以降は全ての時間で観測したデータによる高さです。

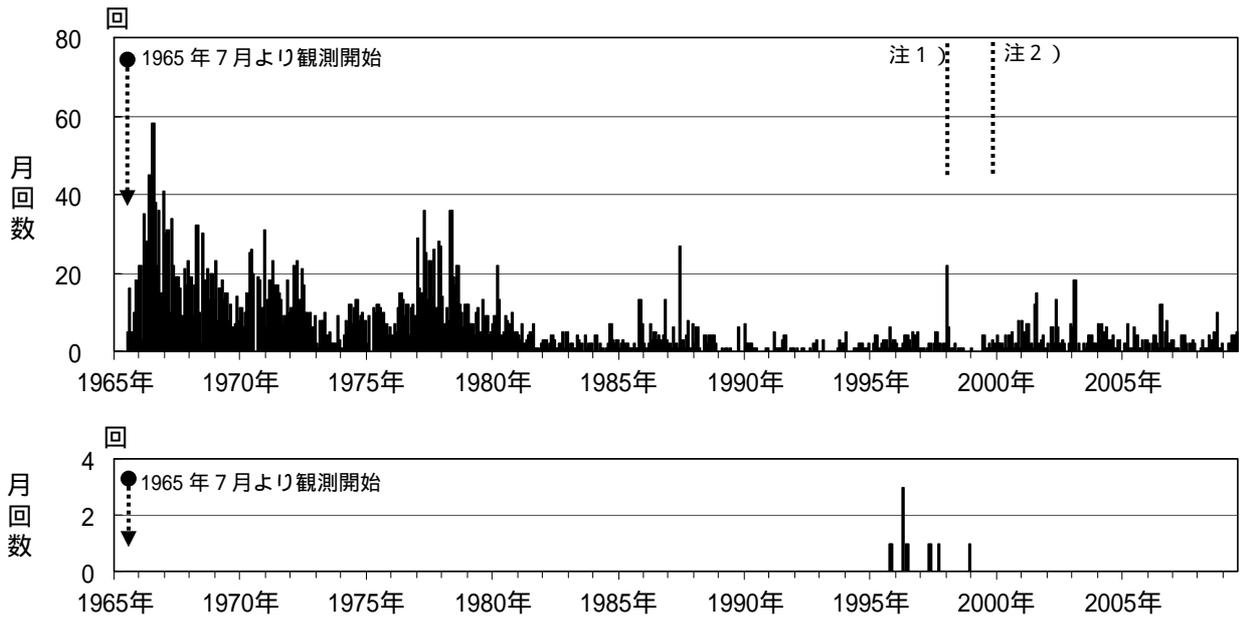


図3 安達太良山 上段：月別地震回数（1965年7月～2009年7月）

下段：月別微動回数（1965年7月～2009年7月）

注1）1998年より検測基準を S-P 5 秒以下から S-P 2 秒以下に変更しました。

注2）1999年10月にB点を新設し、基準観測点をA点（沼ノ平から東北東約6km）からB点（沼ノ平から東北東約3km）に変更しました。

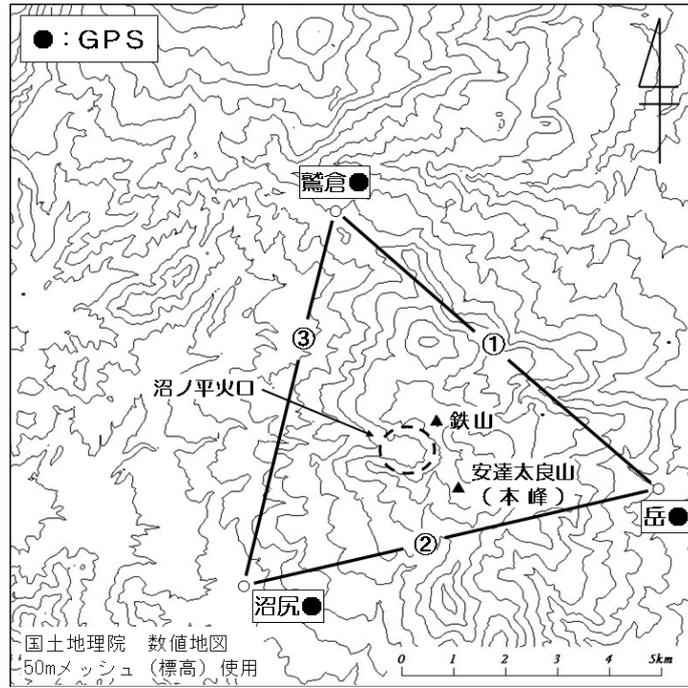


図4 安達太良山 GPS 観測点配置図
GPS 基線 ~ は図5の ~ に対応します。

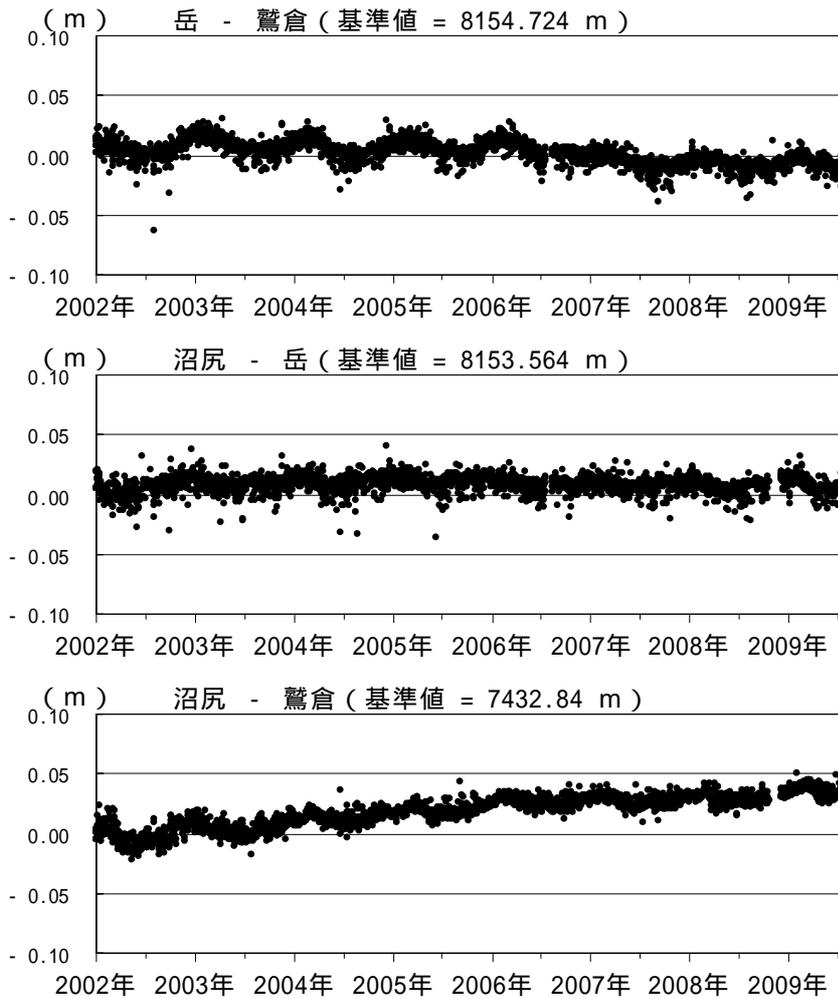


図5 安達太良山 GPS 基線長変化図 (2002年1月~2009年7月)
~ は図4のGPS 基線 ~ に対応しています。
沼尻観測点が障害のため、一部に欠測があります。



図 6 安達太良山 地表面温度分布¹⁾測定地点

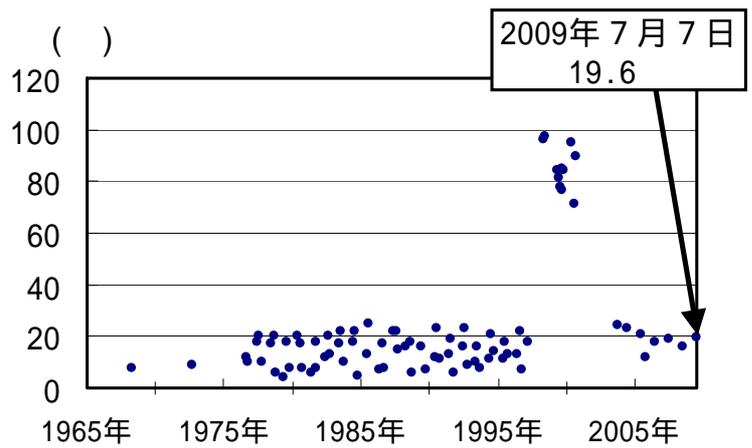


図 7 安達太良山 沼ノ平火口中央(Y-1)の
地中温度²⁾の変化図

（1968 年 5 月～2009 年 7 月）

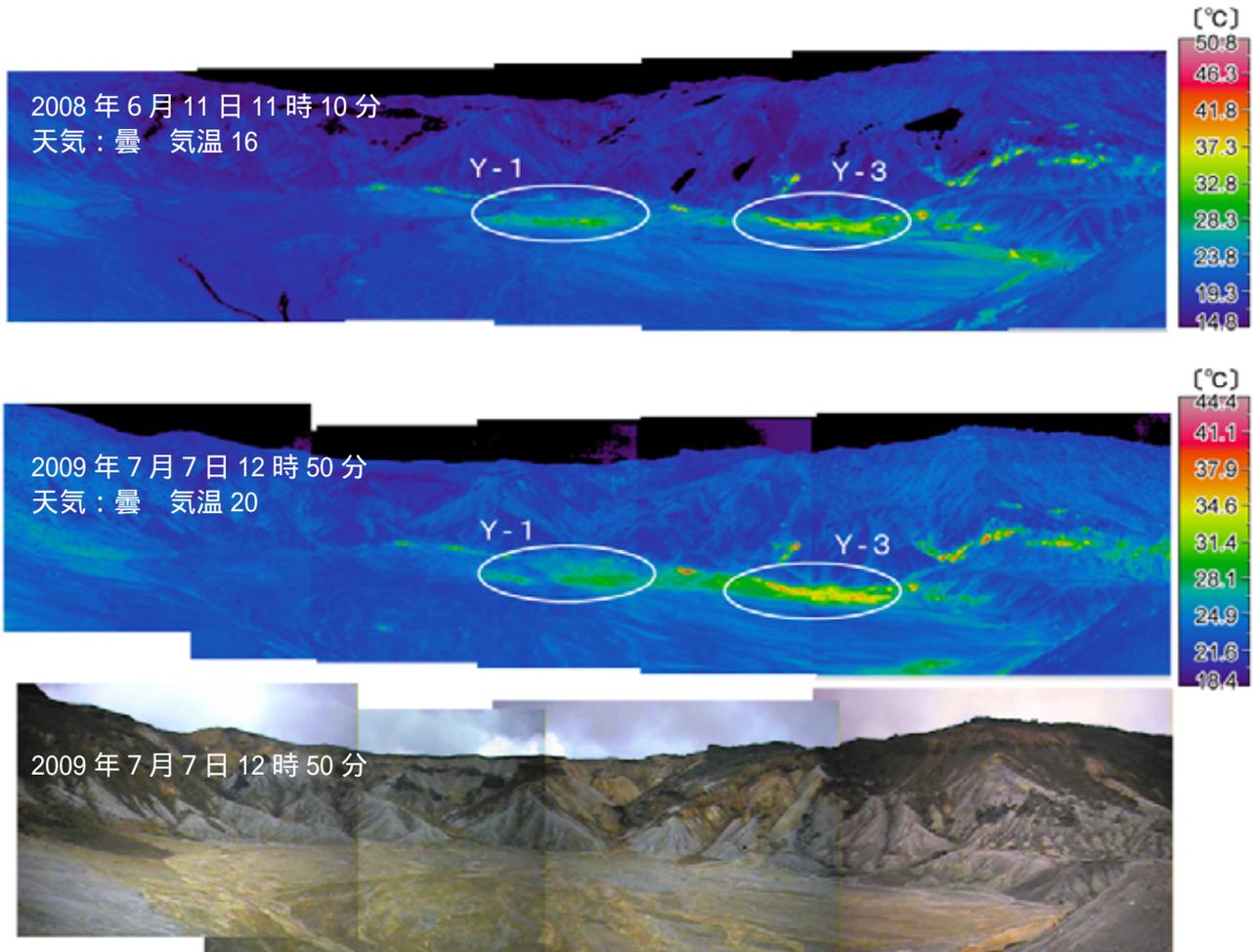


図 8 安達太良山 沼ノ平の地表面温度分布¹⁾（上段、中段）と可視画像（下段）